

整理番号：5－4

提言題名：桑原地区のイオン開発に伴う交通混雑について

【提言要旨】

桑原地区のイオン開発に伴う交通混雑について、要望致します。

市内に大型ショッピングモールが出来れば、当然のように自動車・道路の混雑が予想されます。特に、国道6号線を我孫子方面へ渡った青山台交差点は現状でも大きな渋滞ポイントになっています。

そこで、我孫子市や茨城県、千葉県、国へと働きかけを行い、青山台交差点の立体交差化を実現して欲しいと願います。守谷の乙子交差点が立体化されたの対し、新大利根橋を渡った戸頭地区の渋滞も厳しいものがあります。取手から千葉県へと向かう橋が2本とも渋滞ポイントとなつては、開業後の集客にも影響し、さらには市民の生活に多大なる影響をもたらします。ぜひ広域的な視点で、道路整備の要望を挙げて頂きたいと思ひます。

(令和6年9月受付)

【回答要旨】

「桑原地区のイオン開発に伴う交通混雑」の解消に向けたご要望ですが、事業の検討においては、交通管理者や道路管理者をはじめとした国や県の関係機関と交通処理に係る協議を行いながら進めております。

ご指摘の青山台入口交差点につきましては、国道6号の渋滞ポイントの一つであることは認識しております。現在、国土交通省が中心となり、千葉県北西部の渋滞解消に向けた「千葉北西連絡道路」が計画検討されており、その検討会の委員として取手市も参画し、茨城県、千葉県、関係各市と意見交換などを行っております。

こういった場も活用しながら、引き続き国道6号の交通円滑化に資する要望を行っていきたくと思ひます。

(令和6年9月 都市計画課回答)